

「いしかわステイサポート事業」オンラインプログラムの開催について

継続的な交流人口の拡大や将来的な移住希望者の掘り起こしを目的に、県外の学生や社会人を対象に、地域に滞在して住民との交流や地域活動への参加を通じて、地域の魅力を体感いただく「いしかわステイサポート事業」について、今年度新たに、オンラインで交流できるプログラムを設け、7月から実施しますので、お知らせいたします。

1. 趣旨

参加者と地域住民がオンライン上で地域課題を共有し、その解決策をテーマに交流・意見交換を行う。

また、後日、地域において意見交換の結果を踏まえた具体の取組みを進める中でも、参加者に現地での活動も含め、継続的な関わりを促す。

2. プログラム概要

(1) 七尾市高階地区

内容：高階地区コミュニティセンター(旧高階小学校)横の空き地を活用し、人が集まり交流できるカフェを開設するに当たり、カフェのコンセプトやサービス内容など、魅力的な拠点とするための工夫を検討する。

日時：令和3年7月17日(土) 18時～20時

定員：10名程度

使用ツール：zoom

(2) 加賀市東谷地区

内容：重要伝統的建造物群保存地区に指定されている東谷地区大土町は、住民の転出が進み、集落内在住者は1名のみとなっている。地域を存続させていくための取組を検討する。

日時：令和3年7月31日(土) 17時～19時

定員：10名程度

使用ツール：zoom

※プログラムは随時追加予定。

3. 参加申し込み

「いしかわステイサポート事業」特設サイトの申込フォームから必要事項を入力の上、申し込みください。

URL：<https://ishikawa-wh.com/>

(参考) いしかわステイサポート事業の各コースについて

○長期滞在コース：1週間から1か月の間、飲食・宿泊などの観光業や農業などに従事し、収入を得ながら、地域と交流する機会を提供する。

○短期滞在コース：2日以上地域に滞在し、祭りや農作業などの地域活動を通じて地域と交流する機会を提供する。

⑨オンラインプログラム：オンラインにより、地域課題等をテーマに地域住民と交流する機会を提供し、将来的な現地訪問につなげる。

※R2年度は、新型コロナウイルスの感染拡大を踏まえ中止。

※R3年度の現地滞在を伴う長期滞在コース及び短期滞在コースは、新型コロナウイルスの影響を見極めた上で開催する。